

令和8年度  
福岡市博物館体験学習事業実施要領  
(中学校・特別支援学校対象)



福岡市博物館

福岡市早良区百道浜3丁目1-1

TEL 092-845-5011

FAX 092-845-5019

MAIL : [hakubutsukan.gakushu@city.fukuoka.lg.jp](mailto:hakubutsukan.gakushu@city.fukuoka.lg.jp)

## 令和8年度 福岡市博物館 体験学習 事業実施要領(中学校・特別支援学校対象)

1 目的 福岡市博物館体験学習事業を通じ、郷土福岡の貴重な文化遺産や民俗資料について興味・関心を持ち理解を深めるとともに郷土福岡を愛する心と未来を考える力を育むことを目的とする。

2 対象学年 福岡市立中学校(全学年)、福岡市立特別支援学校中学部

3 実施期間 令和8年4月14日(火)から令和9年3月中旬までの火曜日～金曜日。  
夏休み期間も実施可能。ただし、休館日・祝休日を除く。  
※休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌平日)  
※夜間中学校などの事情で、平日の実施が難しい場合は事前に相談すること。

4 講師 オリエンテーション、体験活動…運営課 教育普及担当 学芸講座…学芸員

### 5 福岡市博物館(以下「博物館」という)体験学習の内容

- (1) 博物館体験学習とは、原則として「博物館の見学」と「体験活動」を組み合わせた学習である。
- (2) 学校の都合により「見学のみ」「見学と体験活動」のどちらかを選択することもできる。  
ただし、学級数が3学級以上の場合は講座室の定員により活動を2部に分ける必要があるため、「見学と体験活動」の学習を選択することとする。
- (3) 体験活動は「勾玉づくり体験」もしくは「封泥体験(金印)」のどちらかのメニューとする。
- (4) 体験活動は1校につき1メニューとし、学年で統一のメニューとする。

### 6 費用

- (1) 常設展及び企画展の生徒・引率教員の入場料は無料とする(特別展示室は、原則有料)。
- (2) 体験活動の教材費は博物館負担とする。
- (3) 学校から博物館までの交通費は学校負担とする。

### 7 実施方法

#### (1) 申し込み

希望校は「令和8年度 福岡市博物館 体験学習 事業実施申込書」(様式1)を提出する。  
ただし、特別支援学級や院内学級が別日程で実施する場合は、その分も別途提出する。

**◎随時受付(実施希望日の1か月前までに提出) 第5希望まで記入する。**

#### (2) 決定及び通知(提出受付後、1週間以内を目安とする)

博物館は各学校の希望をもとに日程を調整・決定し、各学校長あてに「実施決定通知書」を送付する。

#### (3) 計画書提出(1か月前を目安とする)

各学校は、実施決定通知書をもとに学習内容を計画し、「令和8年度 福岡市博物館 体験学習 事業実施計画書」(様式2)を作成し、実施日の1か月前までにメールまたはFAX、学校連絡便にて提出する。※下見を兼ねて持参も可。その際は必ず事前に連絡すること。

#### (4) 事前打合せ等

「令和8年度 福岡市博物館 体験学習事業実施計画書」(様式2)の受理後、具体的な活動内容について事前の打合せを行う。打合せは、電話やメールに加えて、展示室や施設状況の事前下見を兼ねて担当教員が博物館へ来館することも可能\*。

\*開館日の16時までの間をお願いいたします。(所要時間20～30分程度)

なお、事前打合せ及び確認を電話やメールのみで行った場合、博物館が学校長あてに「博物館 体験学習事前打合せ確認書」を送付する。

#### (5) 体験学習当日

「学習のしおり」を1部提出する。

#### (6) 実施後の報告

学校は、体験学習終了後「福岡市博物館 体験学習アンケート」を学校連絡便にて提出する。

## 8 体験学習の概要

### (1) オリエンテーション(約15～40分)

- ① 始めの号令
- ② 博物館職員の紹介
- ③ 生徒代表のあいさつ
- ④ 博物館の概要説明
- ⑤ 学芸講座
- ⑥ 諸連絡
- ⑦ 終わりの号令

### (2) 体験学習コース

原則、「見学と体験コース」だが、都合により選択できる。

- ・「見学のみ」(別表1「見学コース例」参照)  
学校が作成するの「学習のしおり」を活用し、主に常設展示・企画展示室等の資料や映像の見学により、福岡の歴史や人々の生活を学習するコース
- ・「見学と体験活動コース」(別表2「見学と体験活動例」参照)  
見学コースと下記の体験活動のどちらかを組み合わせたコース  
(体験内容は「勾玉づくり体験」か「封泥体験」を選択する)  
※体験活動の教材費負担はありません。

#### ◇体験活動の内容について

##### 【勾玉づくり体験〈約90分〉】※4学級以下対象

ねらい：勾玉の歴史や使われ方を理解し、勾玉づくりを体験する。

材 料：滑石、紙やすりなど

方 法：滑石に勾玉の形を描く

紙やすり(荒用大やすり)であら削りする

紙やすり(キズ取やすり)で形を整える

紙やすり(水やすり)で磨き仕上げる

##### 【封泥体験(金印の使われ方)〈約70分〉】

ねらい：国宝「金印」の歴史を理解し、その使われ方を体験する。

材 料：金印レプリカ、箱の展開図、紐、木片、粘土、など

方 法：型紙を切り抜いて箱を作る

メッセージを箱に入れ紐で縛り、木片を挟む

木片と紐の結び目に粘土をつける

粘土に金印を押す

#### ◇考古遺物に触る体験について

希望があれば、オリエンテーション後に甕棺や弥生土器、矢じりなどの考古遺物に触る体験が行えます。

### (3) 終わりの会(約10分)

- ① 始めの号令
- ② 生徒代表のあいさつ
- ③ 講評・まとめ
- ④ 終わりの号令



講堂での活動の様子



講座室1での活動の様子



勾玉の完成イメージ



封泥の完成イメージ



考古遺物に触る体験の様子

## 「見学コース」学習計画の例

講 堂 (定員 247名)					
講座室 I (定員 130名) ※3学級を超える場合は2班に分かれて実施。					
A班 (50名)			B班 (50名)		
時間帯	内 容	会 場	時間帯	内 容	会 場
9:25	博物館到着		9:25	博物館到着	
9:30	オリエンテーション	講堂	9:30	オリエンテーション	講堂
10:15	移動、土器体験		10:15	移動、土器体験	
10:40	常設展		10:40	企画展 体験学習室 パノラマ福岡	
12:00	昼食・自由時間	講座室 I	12:00	昼食・自由時間	講座室 I
13:00	企画展 体験学習室 パノラマ福岡 (または特別展見学)		13:00	常設展 (または特別展見学)	
14:20	終わりの会	講堂	14:20	終わりの会	講堂
14:30	博物館出発		14:30	博物館出発	

※参考	【おおよその所要時間】
① オリエンテーション	40分
② 常設展	60～80分
③ 企画展・体験学習室	60分
④ 特別展見学の場(組み合わせを変更し時間延長)	30～40分
⑤ 終わりの会	10分

## 「見学と体験活動コース」学習計画の例

講 堂 (定員 247名)					
講座室Ⅰ (定員 130名) ※3学級を超える場合は2班に分かれて実施。					
A班 (50名)			B班 (50名)		
時間帯	内 容	会 場	時間帯	内 容	会 場
9:25	博物館到着		9:25	博物館到着	
9:30	オリエンテーション	講堂	9:30	オリエンテーション	講堂
10:15	移動		10:15	移動、器体験	
10:40	体験活動	講座室Ⅰ	10:40	企画展	
	勾玉 80分		11:00	体験学習室	
12:00	(封泥 60分) 体験学習室		11:20	常設展	
12:20	昼食・自由時間	講堂	12:20	昼食・自由時間	講堂
13:20	土器体験		13:20	体験活動	講座室Ⅰ
	企画展		勾玉 80分		
13:50			(封泥 60分)		
14:40	常設展		14:40		
14:50	終わりの会	講堂	14:50	終わりの会	講堂
15:10	博物館出発		15:10	博物館出発	

※参考	【おおよその所要時間】
① オリエンテーション	40分
② 体験活動	勾玉：約90分 封泥：約70分
③ 常設展	50分
④ 企画展・体験学習室等	60分
⑤ 特別展観賞の場合（組み合わせを変更する場合）	40分
⑥ 終わりの会	10分

## 参考

# 令和8年度 福岡市博物館 体験学習事業の実施にあたって ー施設を活用した効果のある体験学習のためにー



## 1 実施上の留意事項

(1)学習問題を作成する場合には、精選してください。

①適度な問題数 ※問題が多すぎると、じっくり見学できない可能性があります。

例)(ア)奴国の使いが金印を持ち帰って今年で何年目になるか計算しなさい。 【知識・理解】

(イ)模型「吉武高木遺跡」と「金隈遺跡」を比較して気づくことを書きなさい。 【思考・判断】

(ウ)興味を持った展示品を選びスケッチし、名称と説明を書きなさい。 【意欲・関心・態度】

(エ)大画面を見て「博多手一本」をマスターしよう。 【技能】

②新たな課題の発見

例)(ア)古代の船でよく大陸に渡れたなあ？

(イ)展示の農具「えぶり」は何に使ったのだろうか？

③校区の歴史や遺跡、展示文化財に関する問題

(2)補充・深化学習に活用する。

①実物や復元品を見る・触れる

金印「漢委奴國王」、黒曜石の石器、火縄銃、土器等

②教科書に登場する人物・もの・できごとに関連した展示

稲作伝来・文明開化・奴国・金印・遣唐使・元寇・大宰府・朝鮮出兵・豊臣秀吉 等

③校区の歴史や伝統文化に関する展示

各校区にある遺跡、伝統行事「山笠」等

④展示と一体化した体験学習

金印～封泥体験 勾玉～勾玉づくり 等

⑤展示から現地見学へ

金印公園・須玖岡本遺跡・鴻臚館跡・福岡城跡・板付遺跡・吉武高木遺跡など

※地下鉄西新駅の復路で元寇防塁(西南学院大学構内)を見学することもできます。(要相談)

(3)年間展示スケジュールと関連させて実施する。

特別展・企画展の年間予定を活用する。(※展示内容は年度当初の年間スケジュールを参考に)

## 2 その他

(1)見学は、教員による事前解説を行い、学級担任誘導による学級単位・班単位の見学を行う。

(2)常設展見学は混雑を回避するため、スタートコーナーをずらして見学を実施することも可。



## 令和 8 年度 福岡市博物館 体験学習事業 実施の流れ（中学校・特別支援学校）

日 程	事 項	書 類
	「福岡市博物館 体験学習 事業実施要領」（希望調査）	博物館→学校
◎随時受付 実施希望日の 1か月前までに提出	「福岡市博物館 体験学習 事業実施申込書」（様式1）	学校→博物館
	「福岡市博物館 体験学習事業の実施決定について」	博物館→学校
実施1か月前	「福岡市博物館 体験学習事業実施計画書」（様式2）をもとに事前打合せを下記のいずれかの方法で行う。 ・博物館展示、館内施設等の下見を兼ねて来館する。 ・電話またはメールで行う。	学校→博物館
実施2週間前	必要な場合、「校外行事実施届」を提出する。 ※ 電話・メールのみで事前打合せ・確認をした場合、「博物館体験学習事前打合せ確認書」を送付する。	学校→市教委 博物館→学校
当日の流れ	1 学校出発 2 博物館到着⇒講堂へ直ちに入室し人員点呼を行う。 ※「学習のしおり」を担当の教育普及担当者に1部提出する。 3 オリエンテーション(講堂もしくは講座室1) 見学・体験活動 4 終わりの会（講堂） ※「入館証」を返却する。 5 博物館出発 6 学校到着	学校→博物館
実施後1か月を目安に	当日配付の「博物館 体験学習アンケート」を記入後、学校連絡で提出する。	学校→博物館

### 【申込み・問い合わせ・提出先】

福岡市博物館運営課 集客・広報普及専門員(教育普及担当) 堀部・水田

T E L : 092-845-5011

F A X : 092-845-5019

MAIL : hakubutsukan.gakushu@city.fukuoka.lg.jp

(あて先) 福岡市博物館運営課長

校名 福岡市立  
校長名

中学校・特別支援学校

電話番号

FAX番号

担当者 職・氏名

## 令和8年度 福岡市博物館 体験学習 事業実施申込書

下記のとおり申し込みます。

学年・人数	第( )学年 ( )学級 ( )人	
希望コース ○印をつける	見学のみ ・ 見学と体験活動	
希望体験活動	勾玉づくり ・ 封泥体験(金印)	
交通手段	貸切バス(大型 台 中・小型 台) ・ 地下鉄 ・ 徒歩 ・ その他( )	
希望見学室	常設展示室・ 特別展示室 ・ 企画展示室 ・ 体験学習室(みたいけんラボ) ※特別展示室は、原則有料です	
希望日時 ※第5希望 まで記入	第1希望	月 日 曜日 時 分から 時 分まで
	第2希望	月 日 曜日 時 分から 時 分まで
	第3希望	月 日 曜日 時 分から 時 分まで
	第4希望	月 日 曜日 時 分から 時 分まで
	第5希望	月 日 曜日 時 分から 時 分まで
留意事項	<p>1. 希望日は、福岡市博物館が対応可能な日であれば、年度を通じて可能です。</p> <p>2. 休館日(月曜日：休日が重なった場合は翌平日)、日祝祭日は実施できません。</p> <p>3. 他校との調整のため、<b>各希望日の間は、なるべく1週間程度あけてください。</b></p> <p>4. 希望見学室は、予定で結構ですので○で囲んでください。 特別展については原則有料です。(博物館主催の特別展のみ、中学生は無料となる可能性があります)</p> <p><b>5. 第5希望まで必ず記入してください。</b></p>	
備考 (要望等があれば記入)		

中学校長 様  
特別支援学校長 様

福岡市博物館運営課長

## 令和 8 年度 福岡市博物館 体験学習事業の実施決定について(通知)

日頃から当博物館事業にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。  
さて、先に申し込みをいただきました体験学習事業について、下記のとおり実施決定  
しましたのでお知らせします。

### 記

- 1 実施日 令和 年 月 日 ( )
- 2 コース ( ) 見学のみ  
( ) 見学と体験活動
- 3 体験講座 ( ) 勾玉づくり体験  
( ) 封泥体験(金印)
- 4 実施にあたっての留意事項  
教育普及担当と学校の担当教諭にて、実施日の1か月前までに  
事前打合せを行います。別添の「福岡市博物館 体験学習実施計画書」  
(様式2)をメールもしくはFAXにて、事前に提出してください。  
または、事前下見を兼ねて来館される場合は、当日持参して  
ください(その際は、必ず事前にご連絡ください)。  
その他については「令和 8 年度 福岡市博物館 体験学習事業実施要領」を  
確認してください。
- 5 実施計画書提出先  
福岡市博物館運営課  
MAIL : hakubutsukan.gakushu@city.fukuoka.lg.jp  
FAX : 092-845-5019
- 6 問合せ先  
福岡市博物館運営課 集客・広報普及専門員(教育普及担当) 堀部・水田  
TEL : 092-845-5011

(あて先) 福岡市博物館運営課長

令和 年 月 日提出

令和8年度 福岡市博物館 体験学習事業 実施計画書 (コース)

学校名 福岡市立 中学校・特別支援学校 校長名

担当教師氏名 TEL

- 1 実施予定日 令和 年 月 日 ( )
2 参加予定人員 学年 年生 学級数 組 生徒数 人 引率者数 人 合計人員 人
3 歴史学習の進捗状況 時代まで
4 時間等について 学校出発時間 時 分 博物館到着時間 時 分
博物館出発時間 時 分 学校到着時間 時 分
5 交通手段 借上 (貸切バス 台・ジャンボタクシー 台)・公共交通機関(地下鉄・バス・鉄道)
6 学習のねらい

7 学習時間帯

Table with columns for Aグループ and Bグループ, including sub-columns for 時刻, 内容, and 会場. Includes total counts for 講堂利用 (定員247人) and 講座室1利用 (定員130人).

※この計画表は、実施日の1か月前までに提出してください。この計画票をもとに話し合いを進めます。